

2023年度 事業計画書

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

1 事業活動方針

今年5月、新型コロナの5類移行により、社会は3年以上に及ぶコロナ禍から日常を取り戻しつつあります。この間、オンラインによる授業や会議などが急速に普及し、その利便性から、今後もそうしたデジタル技術の活用が普通のこととして定着するものと思われます。

これまで、神奈川子ども未来ファンドにおいても、新型コロナ感染防止の観点から、そうした手段を取り入れるなど様々工夫してきましたが、やむを得ず中止した取組みもありました。

今年度は、新型コロナを巡る状況を踏まえ、感染防止に配慮しつつ対面交流の回復を図っていきます。そして、引き続き、子ども達の未来を応援し、子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組みます。

具体的には、子どもたちの現状を市民に伝えることや、潜在的なサポーターの掘り起こしを図ること、子ども・若者・子育ての課題に取り組む団体へ助成すること、活動団体とサポーターをつなぐことなどを通じて子ども支援活動への支援と子ども支援活動を支える地域づくりを進めます。

また、昨年度、一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が実施する休眠預金等活用法に基づく資金分配団体(通常枠)に採択されたことを受け、外部委員で構成する審査委員会の審査選考を経て決定した神奈川県内の実行団体5団体に助成するとともに伴走支援を行います。

さらには、神奈川県福祉こどもみらい局の「生活困窮者等若者単立ち応援事業」の事業者に採択されたことを受け、同事業を推進するほか、いじめストップの地域づくりを進めるため、行政、企業、団体と幅広く連携し、ピンクシャツデーキャンペーンを引き続き推進します。

今年4月、神奈川子ども未来ファンドは設立20周年を迎えました。これからも、支えてくださる多くの皆様の信託と関係の皆様の期待に応えるべく、進化の努力を重ね、地域とともに歩んでいきます。

2 事業内容

(1) 個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

① NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

(ア) ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の運用によるマッチングの推進

- ・内 容 子ども支援活動団体の情報、団体の活動を支える企業等の情報、子ども支援に関する情報を集約した上記サイトを運用し、活動団体と企業等とのマッチングを行う。
- ・実施時期 通年
- ・場 所 神奈川子ども未来ファンド事務局(以下、「事務局」という。)ほか
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人、その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 468,125円

(イ) つなぐ・支える相談窓口の運用

- ・内 容 ホームページ上に開設している「つなぐ・支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターの申出をコーディネートする。
- ・実施時期 通年

- ・場 所 事務局及び神奈川県内
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人、その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 267,500円

② 様々な寄付プログラムの実施と普及

(ア) 会員の募集と寄付の募集

- ・内 容

【会員の募集】

	2023年度目標	2022年度実績
正会員 ※	46名 (46口)	62名 (52口)
準会員	15名 (15口)	14名 (14口)
子ども応援会員	15名 (15口)	10名 (15.6口)
法人会員	30社 (30口)	24社 (27.3口)

※定款第9条第2項の適用による減を見込む

【寄付の募集】

	2023年度目標	2022年度実績
一般寄付金 ※	5,000,000円	4,568,502円
運営基盤を支える寄付金	100,000円	120,000円

※ピンクシャツデー協賛金を含む

- ・実施時期 通年
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 15名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 137,355円

(イ) 音楽イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等の音楽イベントに出展し、チャリティグッズ販売や募金活動、子ども支援活動団体の紹介パネルの展示等を実施する。
- ・実施時期 2023年4月15日(土)・16日(日)
- イベント名 ヨコハマアコースティックフェスティバル vol.13(赤レンガ倉庫)
- 及び場所 ほか
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 282,794円

(ウ) 各種イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 商店街やテレビ局等の主催イベントに出展し、チャリティ販売と募金活動を行うほか、子ども支援活動の普及啓発活動を行う。
- ・実施時期 2023年5月27日(土)・28日(日)
- イベント名 tvk かながわMIRAI ストリート (日本大通り・横浜公園) ほか
- 及び場所
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 204,447円

(2) 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

① 助成事業

(ア) 2023 年度助成

- ・内 容 「一般助成」及び「課題助成」合わせて総額 150 万円（1 団体上限 30 万円）で 2022 年度に募集し、助成選考委員会の審査選考を経て決定した 7 団体へ総額 1,525,000 円の助成を行う。

(2023年度助成選考委員会)

- 委員長 高見澤尚弘氏 株式会社高尚代表取締役社長
- 委員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
- 委員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士
- 委員 藤枝 香織氏 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事・事務局長
- 委員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員

- ・実施時期 5月
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 10名（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 1,683,180円

【2023 年度助成対象団体一覧】 助成総額 1,525,000円

<一般助成>

	団体名	事業名 <活動領域>	所在地	助成金額
1	一般社団法人 あそびの庭	<居場所づくり事業> 「はらっぱベース」～子ども真ん中・だれでも どうぞの居場所づくり～	二宮町	300,000円
2	特定非営利活動法人 まんま	<乳幼児親子支援事業> 子どもの育ち相談日 ぽればれ	横浜市	200,000円
3	特定非営利活動法人 こどもの広場もみの木	<居場所づくり事業> 「こどもの広場」を核にした地域における子育てを 支え合うピアサポートコミュニティづくり（2年目）	横浜市	200,000円
4	特定非営利活動法人 ひだまりの森	<乳幼児親子支援事業> コロナ禍で生きづらさが増した境界線領域の 親子支援「専門相談強化事業」	横浜市	250,000円
5	一般社団法人 グローバル文化協働支援 センター	<居場所づくり事業> にこにこ学堂クラブ	秦野市	125,000円
6	特定非営利活動法人 育ち合い広場・てとてと て	<学習支援事業> 学校に代わるオルタナティブな学び場事業「ま なびこ」	藤沢市	150,000円

合 計	1,225,000 円
-----	-------------

<課題助成>

	団体名	事業名 <活動領域>	所在地	助成金額
1	特定非営利活動法人 さくらんぼ	<女性支援> 社会的擁護を出た女子学生のための下宿 「下宿やWith」の規模拡大及び機能強化	横浜市	300,000 円
			合 計	300,000 円

(イ) 2024 年度助成

- ・内 容 2024年度助成対象団体の募集
「一般助成」及び「課題助成」（いじめ・貧困・児童虐待）を設定し募集する。
- ・実施時期 2023年11月～2024年1月（予定）
- ・従事者人員 10名（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 157,320 円

(ウ) 助成贈呈式及び助成報告会

- ・内 容 2023 年度助成団体への助成目録の贈呈、2022 年度助成団体の実施報告及び寄付をした企業・団体・個人との交流
- ・実施時期 2023年6月23日（金）
- ・場 所 横浜ワールドポーターズ6階 イベントスペースB
- ・従事者人員 20名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人、その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 186,914 円

② 休眠預金等活用助成「困難を抱え孤立する子ども・若者の社会的自立支援事業」

- ・内 容 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預金等活用法に基づく「2022 年度通常枠第 1 回」に資金分配団体として応募し採択されたことを受け、外部委員で構成する審査委員会により選考された実行団体 5 団体に対し、助成をするとともに事業の着実な実施に向け伴走支援を行う。また、評価委員会を設置し事業評価を実施する。

<審査委員会>

委員長	白井 正樹氏	神奈川県立保健福祉大学名誉教授
委員	田口 努氏	公益財団法人日本 YMCA 同盟主事
委員	飛弾野 理氏	神奈川県弁護士会 弁護士
委員	西川 正氏	特定非営利活動法人ハンズオン埼玉理事
委員	根本 真紀氏	社会福祉士
委員	山岡 義卓氏	神奈川大学経営学部特任教授

<評価アドバイザー>

津富 宏氏 静岡県立大学教授

<評価委員会>

3名の外部委員で構成

助成総額 49,972,526円（事業費・3年間）

※別途評価関連経費（3年間）として1,442,000円

団体名	事業名	所在地	2023年度助成額 （事業費助成[3年間] 〈評価関連経費助成[3年間]〉
特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	児童養護施設等の子ども達の 為のキャリア教育事業	横浜市	3,260,400円 (12,096,000円) 〈550,000円〉
特定非営利活動法人 横浜メンタルサービス ネットワーク	医療・福祉・教育の挟間で生 きづらさを抱えた、小・中・ 高校生支援	横浜市	3,564,586円 (9,965,792円) 〈345,000円〉
一般社団法人多摩区 ソーシャルデザイン センター	地域の若者が担う互助の支援 により、不登校・引きこもり などに対する居場所づくりと 社会体験を行う事業	川崎市	2,212,120円 (6,715,450円) 〈330,000円〉
特定非営利活動法人 よこすかなかながや	子どもに寄り添い、学習と職 業体験にフォーカスした自立 支援事業	横須賀市	4,448,180円 (13,447,550円) 〈392,000円〉
一般社団法人 かけはし	不登校の子どもと生きづらさ を抱える若者の社会的自立に 向けた活動	横浜市	2,616,130円 (7,747,734円) 〈375,000円〉

※実行団体から提出された事業計画書・資金計画書に基づき、助成金額及び評価関連経費を算定

- ・助成金額 総額 51,414,526円（3年間）
内訳 事業費 49,972,526円（3年間）
評価関連経費 1,442,000円（3年間）
2023年度助成額 16,101,416円
- ・助成期間 2023年4月（資金提供契約締結後）～2026年2月末
- ・審査委員会 2023年3月21日（火）
- ・従事者人員 10名（事務局2名 理事2名 審査委員会委員6名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 26,119,734円

③ 生活困窮者等若者巣立ち応援事業（つばさプロジェクト）

- ・内 容 神奈川県福祉こどもみらい局福祉部生活援護課が実施する「生活困窮者等若者巣立ち応援事業」の事業者の公募に応募し採択されたことを受け、標記事業に係る事務局業務を担うとともに、県内自治体担当者および外部有識者等により構成される「かながわ子ども・若者未来応援ネットワーク会議」の事務局業務を担当し、会議の運営を行う。
また、助成原資の充実に向けて民間資金の受入れを図っていく。
- ・実施期間 2023年7月（予定）～2024年3月31日（日）
- ・助成金額 10,450,000円

- ・対象団体 神奈川県でこども・若者の自立支援に取り組む登録団体（公募審査を経て決定）
- ・従事者人員 4名（事務局2名 理事2名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 11,733,618円

④ ファンケル子どもの未来応援基金（仮称）

- ・内 容 株式会社ファンケルの従業員の寄付による「ファンケル もっと何かできるはず基金」の助成対象団体に選定され、50万円の資金提供を受けて同社の社名を冠した基金を創設し、子ども食堂等や若者の自立を支援する。
- ・実施期間 2023年7月（予定）～2024年3月31日
- ・助成金額 500,000円（神奈川県子ども未来ファンド事務経費含む）
- ・対象団体 神奈川県内で子ども食堂等の居場所を運営している団体
- ・従事者人員 4名（事務局2名 理事2名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 454,400円

(3) 前号の助成対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）への技術的支援

- ・内 容 助成対象団体等への事業運営等に関する助言、支援及び専門家の紹介等
- ・実施時期 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 15,177円

(4) 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

- ・内 容 子ども・若者と子育てに関する実態の把握
- ・実施時期 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 41,927円

(5) 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

① 「ピンクシャツデー2024 in 神奈川」の取組み

- ・内 容 ピンクシャツデー神奈川推進委員会の事務局を担い、同委員会の運営を通じて、ピンクシャツデーキャンペーンを推進し、多様性を認め合ういじめストップの地域づくりに取り組む。また、行政と企業、NPO が連携協働し進める神奈川モデルを発展させ、県内各地に広げていく。
- ・実施時期 2月（ピンクシャツデー月間）、2月28日（水）パネル展示等
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 20名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 3,219,898円

② 子どもみらいセミナーの実施

- ・内 容 いじめ・貧困・児童虐待をテーマに、3回連続講座を実施する。
- ・実施時期 2023年10月、11月、2024年1月（予定）
- ・場 所 未定
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 701,054円

③ 「バリアフリーフェスタかながわ」への参加

- ・内 容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタかながわ」に出展し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介する。
- ・実施時期 2023年11月
- ・場 所 未定
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 45,391円

④ インターネットを活用した普及啓発

- ・内 容 Facebook等を活用して普及啓発活動を行う。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 461,960円

⑤ 20周年記念事業

- ・内 容 団体記録の保存と団体PRに向け「記念冊子」及び団体紹介リーフレットを作成する。
- ・実施時期 3月 冊子：1,000部、リーフレット：2,000部
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 735,181円

⑥ 広報誌の発行による普及啓発

- ・内 容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行う。
- ・実施時期 7月及び12月（年2回発行） 各回3,000部発行
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 433,080円

⑦ メディア等を通じた広報宣伝

- ・内 容 新聞・テレビ等のメディアに積極的に働きかける。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人

・支 出 額 97,230 円

(6) 第3条の目的を達成するために必要な事業

事業実施体制

・会議に関する事項

通常総会 毎年5月下旬開催

理事会 10回開催

運営委員会 10回開催

・監査に関する事項

本監査 毎年5月中旬実施

・事務局体制

事務局長 1名（非常勤職員）

事務局員 2名（非常勤職員）

運営委員による事務局応援

有償ボランティアとして 2名（繁忙期従事）

その他ボランティアとして 2名（随時）

学生インターン 3名

以上